

製品名: 胎盤タンパク質 14 / PAEP (11B8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16236**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	21kDa

抗原情報

遺伝子名	PAEP
別名	GdA; GdF; GdS; Glycodelin A; Glycodelin; Glycodelin F; Glycodelin S; PAEG; PAEP; PEG; PEP; Placental protein 14; PP14;
遺伝子 ID	5047.0
SwissProt ID	P09466
免疫原	ヒト PAEP の合成ペプチド

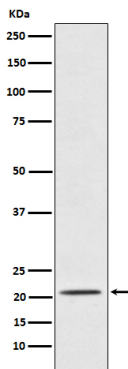
背景

このタンパク質は、月経周期の中期黄体期から妊娠初期にかけて、子宮内膜で合成・分泌される主要なタンパク質であり、量的にも重要な役割を担っています。受精における重要な段階を制御する糖タンパク質であり、免疫調節作用も有します。生殖組織には、グリコシル化と生物学的活性が異なる4つのグリコフォーム、すなわちグリコデリン-S、-A、-F、-Cが同定されています。グリコデリン-Aは避妊作用と免疫抑制作用を有します (PubMed:9918684、PubMed:7531163)。グリコデリン-Cは、精子の透明帯への結合を促進します (PubMed:17192260)。グリコデリンFは精子と透明帯の結合を阻害し、プロゲステロン誘発性精子先体反応を有意に抑制する (PubMed:12672671)。精漿中のグリコデリンSはヒト精子の受精能獲得不全状態を維持する (PubMed:15883155)。

研究分野

-

画像データ



TPA 処理した K562 細胞溶解物における胎盤タンパク質 14 / PAEP 発現のウェスタンブロット分析。